



10月下旬の練習日、旧臼石小学校にて。指導的林成子先生、ピアニストの安倍佳奈子先生と。

『いたて織里音』

混声合唱団

「喜びの一步」を歌い上げよう

初開催のコンサートに向けて

さまざまなイベントにも出演し演奏の機会を大切にしています。写真は飯館ライオンズクラブの式典に出演した際の1枚。



『いたて織里音』は令和2年に発足した混声合唱団。前身の「飯館お母さんコーラス」に、男声パートの4人を含む若い世代が加入し、新たなハーモニーを紡いでいます。練習日は隔週の土曜日で、本格的な合唱曲、ポップス、唱歌など、幅広いジャンルの楽曲を練習しています。発足当初からコロナ禍の影響を受け発表の機会が失われていましたが、この秋いよいよ初めてのコンサートを開催します。本番が近づく中、平日の夜にも集まれるメンバーで自主練習を重ねるなど、想いを一つに、よりよい演奏を目指しています。会長の佐藤将樹さん(関根・松塚)は「コンサートでは、飯館村でこんな風に楽しく頑張っていることも皆さんに伝えたいですね」と願っています。ふるさとへの想いをのせてコンサート開幕を心待ちにしてください。

喜びの一步

いたて織里音 復興ふれあいコンサート

11月19日 日 開場 正午 開演 午後0時30分  
交流センター「ふれ愛館」 入場無料

『いたて織里音』としての単独コンサートは初開催。混声合唱で「大地讃頌」「群青」「糸」などを演奏します。また、支援と交流をいただいていた奈良県の『楽しく！コーラス』、オカリナグループ『ライリッシュ・オカリナトゥインクル飯館』が賛助出演します。

飯館村で生まれた新たなつながりが、着実に、村の魅力創出につながっていることを感じました。そうしたつながりの中で生まれた優しさを表すかのように、村の木々もあたたかい色に変化してきたな、とつい感じてしまいます。寒い季節もあたたかい心でやわらぐといいなあ。(菅野)

飯館村で生まれている新しい「つながり」。つながるからこそできることがあって、その広がりや皆さんが楽しんでいる様子にとぎめきました。それぞれにやりたいことがあり、共感をもって、やさしくつながりあえる、心の自由も感じました。ここからつながる未来にも、わくわくしちやいますね。(星)

〈編集後記〉

LINE 飯館村公式アカウント

お友達登録 待ってるね

村からのお知らせなどがすぐ分かる

お友達登録はこちらから↑